

平成 27 年度 特別支援学校機能強化モデル事業 成果報告

(1) 特別支援学校のセンター的機能充実事業

団体名	神戸市教育委員会
-----	----------

【事業概要】

1. 事業実施前の現状と課題

従来、神戸市においては、スクールクラスターとして、通級指導教室、こうべ学びの支援センター、特別支援学校を重要な教育資源として位置付け、通級指導教室とこうべ学びの支援センターは通常の学級を、特別支援学校は特別支援学級を中心に支援を行ってきた。

しかし、小中学校において、通級指導教室やこうべ学びの支援センターのニーズが高まる中、特別支援学校と小中学校の連携はあまり深まっていかなかった。原因としては、特別支援学校のセンター的機能に関する広報が十分にできておらず、小中学校等において、特別支援学校のセンター的機能があまり認知されていないということが考えられた。

そこで、平成 25 年度に、市立県立特別支援学校の管理職と地域支援担当者、小中学校長代表者からなる「特別支援学校のセンター的機能検討会議」を開催し、その中で、地域校による特別支援学校の活用を促すために、「特別支援学校のセンター的機能活用ガイドブック」を作成した。また、地域校が、子供たちのニーズに応じてスクールクラスターを活用できるように、教職員向けのリーフレットを作成した。平成 26 年度は、これらを活用し、教育委員会主催の特別支援教育コーディネーター研修や管理職研修でスクールクラスターの考え方や、特別支援学校のセンター的機能の活用について発信する機会を多く持った。

また、平成 26 年度より、従前より教育委員会が行っていた特別支援学級担任者向けの研修を、「パワーアップ研修」として、構成し直し、特別支援学校のセンター的機能として行った。参加者からは、「大きなところでは聞きにくいことも丁寧に教えてもらえた」「特別支援学校が身近に感じられた」というような感想も聞かれ、一定の成果を得たと考えている。

さらに、前述の「特別支援学校のセンター的機能検討会議」を、平成 26 年度から「特別支援学校のセンター的機能県市連絡会」と改め、管理職と地域支援担当者を集めて、情報交換を行い、課題を共有して、その方策について検討した。

上記のような取組の中で、各特別支援学校の地域支援担当者は、自分たちが特別支援学校のセンター的機能の活用について発信し、地域支援を充実させていかなければならないという意識を持つようになり、積極的に地域に発信し、地域に出ていこうとする姿が見られるようになった。

しかし、一方で、地域支援担当者が十分に地域支援に当たれる校内体制が整っていなかったり、特別支援学校の職員の中で、まだまだ地域への特別支援学校の役割について意識できていない教職員が多かったりする現状がある。また、毎年多くの教職員が入れ替わる中で、特別支援学校の専門性が積み上がらず、地域支援担当者に大きな負担がかかっている学校も見られた。

また、研修体制は整ってきたものの、教育相談に関しては、十分に地域の学校に発信及び理解啓発ができてきたとは言えず、地域の特別支援学級には、経験の浅い教員が多いにも関わらず、相談数があまり伸びていない現状も見られ、ニーズの掘り起こしの必要性が感じられた。

2. 事業を通じて得られた成果と課題

26年度末の特別支援学校校長会において、27年度の特別支援学校のセンター的機能の充実に向けて、校内体制の整備について依頼した。それにより、年度初めに学校長より地域支援の充実に向けて全職員に伝達することができ、特別支援学校は、地域に向けて、その専門性を発揮して、センター的機能の役割を果たしていかなければならないという意識も進み、協力体制をとれるようになってきた。

また、県市の特別支援学校の管理職と地域支援担当者を集めた「特別支援学校のセンター的機能県市連絡会」を1回、「県市地域支援担当者会」を1回、「市地域支援担当者会」を2回開催した。会を重ねる中で、中身の濃い意見交換を行うことができ、他校の工夫を自校に取り入れて行おうとする学校も見られた。その中で、小中学校がブロックごとに行なっている特別支援学級担任者会に地域支援担当者が定期的に参加するという共通理解した。可能な限り参加する中で、研修依頼があったり、教育相談があったり、ということが多くなった。また、定期的に顔を合わせることが多くなったため、以前に支援した児童生徒の様子について聞くことができ、継続した支援につながるが多くなった。

2年目になった「パワーアップ研修」では、特別支援学級担任者が、特別支援学校に足を運ぶことが多くなり、特別支援学級担任者が、特別支援学校教員と顔を合わせる機会が増え、その場で教育相談を行ったり、教材の貸し出しを行ったりなど、研修内容もさることながら、教育相談や継続支援につながるが多くなった。また、校内の教職員の意識も高まり、「パワーアップ研修」が、センター的機能の一環として行われていることを理解し、運営や準備に協力する教職員も増加した。

今年度初めて「スクールクラスター連絡会」を開催した。これは、こうべ学びの支援センター、通級指導教室、特別支援学校の代表者が集まり、それぞれの支援の状況を情報交換し、連携の在り方について検討する会である。そこでは、今回幼稚園や高校への支援について検討を進めていく必要性を共通理解することができた。

特別支援学校と地域校が連携を深めつつ、各学校園で校内体制を整備し、特別支援教育を推進していくためには、特別支援教育コーディネーターが、各校でその役割を果たしていくことが必要不可欠である。そこで「小中学校のための特別支援教育コーディネーターハンドブック」を作成した。そのコンセプトは「初めて特別支援教育コーディネーターに指名されても、その役割を理解し、スクールクラスターを活用しながら校内支援を充実させていけるハンドブック」である。作成に当たっては、小中学校のコーディネーター、通級指導教室代表者、特別支援学校代表者を作成委員に指名し、作成委員会において編集した。作成委員会において編集を進める中で、それぞれの校種の校内支援や支援体制等の情報交換も行うことができ、お互いの校種の状況についても理解を深めることができた。作成した「特別支援教育コーディネーターハンドブック」は、各校の管理職と特別支援教育コーディネーターに配布し、年度初めの「特別支援教育コーディネーター基礎研修」や管理職研修において、その内容を周知する予定である。

3. 解決策(次年度の重点的取組等)

本事業は、27年度をもって終了する。本市は、この事業を活用し、外部人材の活用や、特別支援学校のセンター的機能の活用についての理解普及のための冊子の作成などを通して、特別支援学校のセンター的機能を推進してきた。地域校への理解普及、特別支援学校の教職員の意識の

向上、地域校及び特別支援学校の教員の専門性の向上等において、一定の成果を得たと考えている。しかしながら、「パワーアップ研修」や校内研修において、外部講師を活用した学校が多く、自校の講師で、地域に向けて研修を行おうとする学校が少ない。自校の講師が内部、あるいは外部に向けて研修を行うことは、研修を行う講師の力量の向上にもつながると考えられる。そのため、今まで外部講師から教わったことを糧に、自校の教師が講師となって研修を行っていくことを推進していきたい。また、講義型の研修のみならず、体験型やグループ研修など、様々な研修の在り方についても検討、推進していく必要がある。本市では、夏休みに、特別支援学校や地域校の肢体不自由のある子供たちや教員、保護者が参加して3～4日のからだの学習を行う「自立活動集中実践講座」や知的障害や発達障害の児童を対象として行う「発達支援実践講座」がある。これらは、特別支援学校の専門性向上と地域支援を目的として特別支援学校で行っているものである。これらの講座においても、地域校の教職員の専門性の向上とともに、自校の教員がスーパーバイザーとなることを推奨し、特別支援学校の専門性の向上も図りたい。

4. 事業成果の維持・発展に向けた工夫や取組や方針

「特別支援学校のセンター的機能県市連絡会」「市地域支援担当者会」「市地域支援担当者会」「スクールクラスター連絡会」など、地域支援担当者が顔を合わせる機会を多く持ってきた。これらの会で顔を合わせるにより、連携も深まり、密に情報交換が行われるようになった。さらに、これらの会を通して、お互いの意識も高まり、各校の意識向上にもつながった。今後もこれらの会を継続していくことにより、より充実した地域支援につなげていきたいと考える。

「パワーアップ研修」においては、上記に述べたとおり、自校の講師で研修を実施していくことを推進していくが、それぞれの学校や教職員の得意な分野を生かしながら、各特別支援学校間で連携して実施していきたい。その中で、地域校の教員のニーズを把握していくことも必要であると考え。よりニーズに合った研修を実施していきたい。

今後も、特別支援学級担任者会に参加したり、地域に向けた研修会を実施したりしていく中で、特別支援学校の地域支援担当者が、地域校の教員とのネットワークを深め、教育相談の充実にもつなげていきたい。また、ネットワーク作りや教育相談を進めていく中で、地域校の各ブロックで中心となる教員の専門性を高め、将来的には、それぞれの地域での特別支援教育の核としていきたいと考えている。

【推進地域及び指定校一覧】

推進地域	指定校	
神戸市	1	神戸市立盲学校
	2	神戸市立友生支援学校
	3	神戸市立垂水養護学校
	4	神戸市立青陽東養護学校
	5	神戸市立青陽西養護学校
	6	神戸市立青陽須磨支援学校